

新年のごあいさつ

謹賀 新年



大府市長
岡村 秀人

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、明るい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

大府市は、昭和45年の市制施行以来「健康都市」をまちづくりの基本理念に掲げ、まちづくりに取り組んでおります。昨年6月に発表された東洋経済新報社の「住みよさランキング」では、全国で6位とこれまでのまちづくりに高い評価をいただくことができました。この結果に満足することなく、さらなる成長を目指して取り組んでまいりたいと思えます。

また、昨年は、4月に施行いたしました「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」に基づき、認知症の方を被保険者とした個人賠償責任保険に市が契約者として加入する事業を全国に先駆けて開始するとともに、認知症への正しい理解の普及やフレイル予防・認知症予防への取り組みを推進しました。12月には条例制定を記念し、認知症サポーターの証であるオレンジリングをモチーフに、JR大府駅

西口にモニUMENTを設置いたしました。今後も、認知症に対する不安のないまちづくりを見据えて、積極的に施策を展開してまいりたいと思えます。

さて、少子高齢化が全国的な課題となる中、本市は子育て世代の転入などにより緩やかに人口が増加しており、昨年4月には9万2千人を突破いたしました。人口の増加とともに高まる子育て支援のニーズに適切に対応するため、本年4月には、新たに民間保育所が4園開園するとともに、公立保育園1園の建て替えが完了し、保育の受け皿を拡大してまいります。

本年は、市制施行50周年を迎えるとともに東京五輪が開催される2020年に向けて、盛り上げていく1年にしてまいりたいと思えます。引き続き、日本一元気な健康都市おおぶの実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、今後とも市政運営に一層のご協力をお願い申し上げます。皆さまにとって、明るく楽しい1年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

大



大府市議会議長
早川 高光

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年大府市は、東洋経済新報社の「住みよさランキング」において、全国で6位となりました。この結果は、健康都市として、これまで進めてまいりました子育て世代への支援をはじめ、多くの施策が実を結んだことが大きいと感じており、本市の良さが全国的に広く認知されたことを、何よりも喜ばしく思っております。そして、昨年4月には、大府駅構内に健康にぎわいステーション「KURUTOおおぶ」がオープンしました。新たなにぎわいが生まれたことは大変喜ばしいことで、今後は、大府駅前のさらなる活性化、また、市全体の活力が高まるように努めてまいりたいと思います。

また、昨年11月には、愛媛県新居浜市と都市間交流協定を締結しました。今後、教育、文化、スポーツ、産業、防災など幅広い分野において連携、協力を図っていくことで両市の良さが相乗効果を生み、さらなる発展につながることを期待しています。

一方、昨年は、全国各地で自然災害による大きな被害があり、災害に強いまちづくりの重要性を改めて考えさせられた年でありました。このような中で、本市はスピード感をもって対処すべく、地震による災害から市民を保護するためのブロック塀等の撤去費用補助金の創設や、災害と認識されるほどであった夏の猛暑に対する小中学校の教室のエアコンの設置に向けて取り組んでまいりました。今後も、市民の皆さまの生命、身体および財産を守るため、議会としての役割を果たしていきたいと思えます。

私も、議長の要職に就きまして2回目の新年を迎えました。これからも、円滑な議事運営に努め、市民の皆さまの負託に応えるべく、住みよく、生き生きとした健康都市の実現に向けて全力を尽くしていく決意を新たにしているところであります。

結びといたしまして、市民の皆さまには、市議会の活動に対しまして、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、健やかで幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます、議会を代表しての年頭のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます